

「新市場創造型標準化制度」の活用が決定されたテーマの概要

<p>○テーマ名 「生活支援ロボットに用いる衝撃吸収型接触検知外装カバーの性能試験方法」に関する標準化</p>	<p>○提案者 株式会社三重ロボット外装技術研究所 【三重県】</p>
<p>○テーマの概要、期待される効果</p> <p>高齢化社会を迎えるとともに少子高齢化による労働力不足を解決するものとして普及が期待される生活支援ロボットは、人と安全に共存することが求められている。</p> <p>本提案は、手指のタッチによる停止命令などの人の意思にはソフトな触感で応えて停止信号を出し、かつ不意の衝突の場合に衝撃吸収をしつつロボットに停止信号を出力するカバー（柔らかな表面素材に接触検知センサを組み込んだロボット向けの外装用カバー）の性能試験方法を標準化するものである。</p> <p>当該カバーを自律移動型の生活支援ロボットに装着することで、人への危害防止はもとより、物理的にハードな生活支援ロボットの表面をソフトな製品表面に進化させ、高齢者や身体的な弱者などへの「人にやさしい」サービスを提供することが可能になるが、その性能や試験方法等を定めた公的な基準がないため、性能を定量的に示すことができない。</p> <p>本提案により、当該カバーの性能を適正に評価できるようになり、カバーがもつ効用が明確となることにより生活支援ロボットへの採用が進むことが期待でき、また、安全性の向上や外面での付加価値をもった生活支援ロボットの登場により、ロボット自体の普及にも貢献が期待できる。</p>	